

令和5年度第2回相生市総合教育会議会議録

日 時	令和5年12月22日（金）14時30分から15時25分
会 場	市役所3階 議員控室
出席委員	谷口 芳紀 市長 浅井 昌平 教育長 萩原 喜樹 教育長職務代理者 小西 毅 教育委員 西田 香子 教育委員 頭島 恵美 教育委員
出席職員	三宅 淳一 企画総務部長 大西 博之 教育次長（管理担当） 山本 哲也 教育次長（指導担当） 桑名 雅彦 参事（生涯学習担当） 木本 博子 学校教育課長 平松 孝夫 体育振興課長 鈴木 高志 人権教育推進室長 立巳 訓子 管理課副主幹 松本 千華 管理課企画総務係主任（書記）
傍聴者	なし

1 開会

2 市長挨拶

年末の大変お忙しいところ、相生市総合教育会議に全委員の皆様にご出席を賜り、誠にありがとうございます。

また、各委員様には平素より相生市の教育行政にご尽力いただき、感謝いたしております。

相生市では新たにLINE公式アカウントの開設や市民からの問い合わせに24時間365日の対応が可能となるAIチャットボットを導入しまして、市政に対するリアルタイムな情報の発信、住民の利便性向上・行政の効率化を図り、行政のデジタル化を進めております。

教育委員会におきましても、学校教育及び社会教育の両分野で、このデジタル化に対応すべく教育を進めていただいておりますが、一方で教育は人と人とのつながりを育てる重要な分野でもございますので、引き続きデジタルとアナログとの両面で進めていただきたいと思いますと考えております。

この総合教育会議は、今後の「相生の教育」についての方向性を決定する非常に重要な場でございます。各委員様の忌憚りの無いご意見をいただきながら、今後に向けて整理を

させていただきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

委員の皆様におかれましては、インフルエンザが流行しておりますので、健康面に十分ご留意され、益々ご活躍されますことご祈念申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

3 協議事項

(1) 相生市の教育に関する重点施策について

ア 令和6年度の重点施策について

教育次長（管理担当）

令和6年度の重点施策は、令和5年度から引き続き、誰ひとり取り残さない教育を推進していくための以下の5点の事業をあげさせていただきました。

(管理課より機構順に事業概要説明)

管理課	「第2次相生市立小中学校適正配置計画の推進」
学校教育課	「子どもの多様性に応える教育支援体制の拡充」 ～誰一人取り残さない教育環境の充実～
生涯学習課	「SDGsの視点を取り入れた学びの推進」
体育振興課	「パラスポーツフェスAIOI」
人権教育推進室	「インターネットにおける人権啓発推進」

令和6年度重点施策の各事業は以上となります。これらの事業によりまして、相生市教育委員会大綱の推進を図ってまいります。

教育次長（管理担当）

それでは、ただいまご説明させていただきました令和6年度事業につきまして、ご協議をお願いしたいと存じます。また、質疑も併せてお受けいたしますので、よろしくお願いいたします。

市長

第2次相生市立小中学校適正配置計画に基づく地域協議会は、何回程度開催されていますか。

教育次長（管理担当）

今現在の協議会の開催は、多いところで3回です。少なくとも2回は開催しています。

協議会で集まって話をするだけでなく、実際の小学校へ行き、子どもたちの授業風景や休み時間の様子を見学し、自分たちの校区以外の学校へも視察を重ねています。

教育長

姫路市には「小規模特認校」というのがありますので、そちらにも見学したいとの意見があり、近く訪問する予定です。

教育次長（管理担当）

1月下旬から2月上旬で、姫路市立筋野小学校や安富北小学校を対象に、姫路市教育委員会と調整しております。

教育長

この地域協議会は将来的には、コミュニティスクールの下地になっていくのではないかと考えています。実際に協議会内でなされている議論では、そういったような方向性が伺えます。

萩原教育長職務代理者

ひとつよろしいでしょうか。「相生市教育支援センター」というのは、今現在ある「少年育成センター」、「適応教室」、「教育研究所」の3つの組織との関係性はどうなりますか。

学校教育課長

「少年育成センター」、「適応教室」、「教育研究所」それぞれを統括し、ひとつのチームとして活動するために、「相生市教育支援センター長」を置くこととしています。建物などはそのままで、センター長を置きセンター長の指示のもと、学校教育課と連携しながら、学校訪問や支援をすることができると考えております。

萩原教育長職務代理者

新しくセンター長を置くということですね。

子どもたち一人一人を大切にすることとはとても良い試みだと思います。一番大事なのは現場ですので、現場と支援センターとの連携を密にしていかないと、センターを立ち上げただけの形になる恐れがあるので、これから有意義な取組を行っていただきたいと思います。

教育次長（管理担当）

ほかにございませんか。

それでは、3 協議事項（1）のア 令和6年度の重点施策についてご了承いただけたということよろしいでしょうか。

市長及び教育委員

はい。

教育次長（管理担当）

本日いただきましたご意見等を踏まえまして、令和6年度の事業を進めてまいりたいと思います。

（1）相生市の教育に関する重点施策について

イ その他

教育次長（管理担当）

次に、イ その他 となります。

総合教育会議につきましては、市長と教育委員会が、教育に関する諸条件整備や重要施策について協議や意見調整を行っていただく会議でございます。

これからの相生の教育について、まず、教育委員の皆様より所感をお聞かせいただきたいと思います。それから市長より教育に関する所感をお聞かせいただき、その後、市長と委員の皆様によります自由意見交換を行っていただきたいと考えております。

それでは、萩原教育長職務代理者よりしくお願いします。

萩原教育長職務代理者

この5月で新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、ニュースでも聞かなくなってきました。しかし最近では、相生市だけでなく全国的にもインフルエンザが教育現場で流行し、学校閉鎖、学級閉鎖になっているようです。その中で、教育現場、学校現場でもいづらかコロナ禍以前の状態に戻りつつあるのではないかと考えております。

教育委員で学校・園訪問へ行かせてもらっていますが、どこの学校・園でも落ち着いて学習が進められており、充実した学校生活を送れているなという感想を持っています。これも、一人一人を大切にされた教育活動の賜物ではないかと思っております。

今年の訪問で、特に私が感じたことは、コンピュータなどを使った授業形態が効率よく組み立てられていて、児童生徒が生き生きと授業に臨んでいるなということです。私たちの時代では、チョークで板書し、手書きの資料を貼ったり、OHPなどが最先端の教育機器でしたが、電子黒板、タブレット端末が導入されて役立っています。

そういった中で私がいつも思うのが、便利なデジタル機器を扱うのは良いことですが、アナログ面も大切にされた教育を進めていかないといけないということです。人と人との繋がりや地域との繋がりを大切に、あくまでデジタル機器は手段としてハイブリッド教育を進めていっていただきたいと考えます。

教育次長（管理担当）

それでは、小西委員よりしくお願いします。

小西委員

今回の重点施策の「子どもの多様性に応える教育支援体制の拡充」で学校サポートチームができるというのは非常に嬉しい話だと思います。

というのも、学校訪問に行かせていただくと、クラスの内3、4人が欠席して、学校へ来ていない子がいる。これは以前より増えたのではないかと感じます。

なぜ学校へ来られないのかと本人に尋ねると、何か大きな問題ではなく、ちょっと行きたくないから。といったことがあるようで、誰か少し背中を押してやるとか、もっと学校へ行きやすくなるように何かできないかと思っていました。最近の子はみんな非常に授業態度が良い反面、学校に来れない子がいる。ここに差があるような気がしていたので、具体的にサポートして背中を押すような形になっていけば良いなと感じました。

教育次長（管理担当）

それでは、西田委員よろしく申し上げます。

西田委員

今年、母を含めて師匠が2人亡くなったので、これからどうしようかと考えている時に、教育委員会が出している「相生のうた」という冊子を見ていたら、鈴木先生が作曲した楽曲がたくさん載っていました。古い校歌や園歌、小唄、音頭などあり、楽譜がない場合もあります。この中の1曲でも2曲でも、復活できたらと思いました。

私の子どもの頃は、お年寄りの方に教えてもらって、相生音頭などをよく踊っていたと思いますが、知っている高齢の方が亡くなってしまったら、若い人は聴く機会もないので、忘れられてしまいます。そういったものをご存知の方を探して、復活できるものがあれば残していく。来年はそういった方にも力を入れてみようかと思っています。

教育次長（管理担当）

それでは、頭島委員よろしく申し上げます。

頭島委員

不登校の児童生徒数が30万人近くになり過去最多になったという報道を耳にしました。私自身は中学生の保護者でもあるので、保護者の方の悩みや不安が伺えます。

不登校になる原因は様々で、不登校になってしまった本人自身もわからない時もあると思うので、そういった状況になってしまった子どもさん、保護者の方の将来に対する不安が少しでも軽くなり、将来に希望が持てるような取組、個別最適な支援を期待しています。

教育次長（管理担当）

それでは市長よろしく申し上げます。

市長

色々ご意見をありがとうございます。私は、常々「まちづくり」をする上での基本は、「ひとづくり」にあると申し上げております。これまで「教育施策」に重点を置いた市政運営を進めさせていただいております。そういった中で、今後の「相生の教育」について、私の考えを3点申し上げさせていただきます。

1点目は、子どもたちが多様な考えを持って生活をしている現代において、全ての児童生徒たちが夢や希望を抱きながら豊かな学校生活を送り、安心して教育を受けることができる魅力ある学校づくりをお願いいたします。さらに、学校に行けないなど個々の事案や状況に応じた必要な支援の推進、教育相談体制の充実を図り、相生の子どもたちがこころ豊かにたくましく育つ教育環境を教育委員会と学校が連携してつくっていただきたいと思います。

また、SNSなどの利用による事件・事故等において、子どもたちが当事者とならないよう、意識を高める学習機会の提供を充実するとともに、多様化する人権課題への意識啓発となる教育についても、家庭、学校、教育委員会が一体となった取組となるようお願いいたします。

2点目、生涯学習分野では、人生100年時代といわれている昨今、学びを通じて人と人がつながり、そのつながりが持続的な地域コミュニティの基盤となっていくような取組をお願いします。また、多様性や社会的包摂の実現、デジタル社会への対応といった時代に即した多様な学びが可能となる機会の提供をお願いいたします。

また社会体育においては、市民体育館のバリアフリー化を契機とし、パラスポーツの更なる普及など、障害の有無にかかわらず誰もがスポーツに親しめるよう、市民のスポーツ環境の充実をお願いいたします。

3点目は、小中学校の適正規模適正配置の取組についてです。現在、3小学校区において地域協議会が設置され、小学校の在り方について協議が進んでいると聞いております。小学校というのは、地域社会の将来を担う人材を育てる重要な場所であり、地域コミュニティの核でもありますので、それぞれの地域の課題や解決方策について丁寧に協議いただき、住民の合意を得ながら進めていただきたいと思います。

冒頭申し上げましたように、私は市政運営を行う上で、教育施策の充実は極めて重要であると考えております。これまで、相生市が先進的で充実した教育の取組を行うことができているのは、教育委員の皆様のご尽力によるものと大変ありがたく、感謝をいたしております。委員の皆様の教育行政のみならず市政全般に対するご協力に、衷心よりお礼申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

教育次長（管理担当）

それでは、意見交換を行っていただきたいと思います。

どなたからでも結構です。先ほどの協議事項に関するご意見も含め、よろしくお願いいたします。

市長

小西委員が仰るように、学校へ行きたくないという子どもが増えているのは心配です。そういった時は、親が学校へ行くように強く言わないのでしょうか。

小西委員

以前はそれが当たり前でしたが、今は「無理して行かなくてもいいんじゃない」というようなこともあるそうです。

S N S の書き込みを見て、思い込んでしまうことも多いようです。情報が多すぎて、何を信じたらいいのかわからなくなっている時代になったと感じます。

小西委員

親の言うことより、スマホの情報の方が正しいという認識があるのでしょうか。それはおかしいですね。

萩原教育長職務代理者

話は変わりますが、体育振興課のparasportsフェスはとても良いと思います。

地域の有志でスポーツをしようと「アジャタ」と「ボッチャ」をしました。アジャタは高齢の参加者がしゃがむ動作が大変だったようでしたが、ボッチャは好評で、すぐにルールも覚えられて、小学生も上手にできていました。パラアスリートの方を呼んで盛り上がるのではないかなと思いました。ぜひ参加したいと思います。

教育次長（管理担当）

ほかにございませんか。

それでは、意見交換につきまして、終了とさせていただいてよろしいでしょうか。今後の相生市の教育に関し、ご意見をいただきありがとうございました。

今回いただきましたご意見を踏まえ、事務局といたしまして関係部局とも協議、検討させていただき、更なる取組を進めさせていただきたいと考えております。

また、予算措置が必要な事項につきましては、今後の予算に反映できるよう努めてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、本日の協議事項はすべて終了いたしました。閉会にあたり浅井教育長よりご挨拶をお願いいたします。

教育長

本日、市長には総合教育会議を開催していただきまして、色々と意見交換をさせていただいたこと感謝申し上げます。また、生涯学習の行事、学校での行事等色々ご参加、ご出席いただきありがとうございます。先日も中央幼稚園で、広報あいおい新年号の写真を子どもたちと一緒に撮影いただき、ありがとうございます。

さて、6月にこども家庭庁より「こども未来戦略方針」が出され、その中で、「給食の無償化」について触れられております。しかし、その内容は、実態を調査してみ

るという程度で、実現には程遠い内容です。相生市では、平成23年度から他に先駆けて、給食無料化を実施していただいていることに感謝申し上げます。このことにつきまして、先日のPTCA活動実践発表会でも触れさせていただき、相生市の給食無料化が如何に先進的な取組であるかをお話させていただきました。また、今年度より、学校給食における地産地消をさらに推進すべく、生産者と協議会を立ち上げております。給食無料化の資金が地元の農業振興の資金に結び付くことは極めて有効なことであり、進めてまいりたく考えております。

学校教育では、市内中学校の男子生徒が自殺をするという事案がございました。現在、第三者委員会をお願いをして調査をしていただいております。教育委員会としましても、教職員全体研修の実施や校長面談・学校訪問等の機会を通して「心の教育」の一層の推進を図っております。さらに、次年度に向けて、「誰一人取り残さないこと」、「教職員の負担軽減を図り、子どもたちに向き合う時間を増やすこと」のための新規予算を要求させていただいております。どうぞ、格別のご配慮をお願い申し上げます。

文化会館は、新型コロナウイルス感染症の収束と共に、利用して下さる人数が戻ってまいりました。国の「劇場、音楽堂等の事業の活性化のための取組に関する指針」では「劇場、音楽堂等は、地域の文化の拠点としてすべての人に社会参加の道を開く、社会包摂の機能を持つ。設置者は、内外に発信できる施設を目指すのか、利用者のニーズに合わせて運営する施設なのか、方針を選択しなければならない」とされております。なぎさホールはまさに后者であり、このなぎさホールがあることで、市民の皆様の文化芸術に対する興味関心の裾野が広がり、また熟度が高まっております。また、様々なイベントなどを通してコミュニティの輪が広がり、その拠点としての機能を発揮いたしております。開設後ほんの8年のことですが、大きな変化をもたらしております。今後とも先ほどの指針に基づき、利用される方のニーズを大切に事業を展開してまいります。

市民体育施設のバリアフリー化も間もなく完備されます。人権を所管する教育委員会としては、大きな懸案であり念願でございました。多額の予算を付けていただきましたことお礼申し上げます。今後は、いつでもどこでも誰でもがスポーツに親しめるよう、ソフト面により注力してまいります。

今後も教育委員会、総力を挙げて、しっかりと取り組んでまいります。本日はありがとうございました。

令和5年度第2回相生市総合教育会議を終了